

## 平成27年度 原小学校「豊かな心の育成」推進プログラム

### 学校教育目標

心ゆたかに、ともに学ぶ子  
～生きる力を育む原の子の木をイメージして～

### 児童の実態

本校の児童は明るく、素直でほめられるとよく頑張ることができる。また、あいさつや相手のことを考えて行動できるようになってきている。反面、自分に自信がなく、自己肯定感が低い。そのため自信をもって自分の思いや考えを相手に伝えることが十分にできていない。

### 「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して、道德教育の充実を図る。
- ・異年齢集団でのねらいを明確にし、計画的に活動することで、主体性、思いやりの心を育てる。
- ・家庭や地域との連携を図り、さまざまな人と関わることでコミュニケーション力を高める。

### 指針1「道德時間」の充実

- 道德教育の要となる道德の時間を通して、子どもが道德的見方・考え方・感じ方を多様に広げ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道德的実践力が身に付けられるようにします。【視点1】
- ・全学級の道德の授業を家庭・地域に（年1回以上）公開する。
  - ・学校の教育活動全体を通じて行う道德教育と、各学級の道德の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。

### 指針2「体験活動の充実」

- 縦割り活動などの異年齢集団活動を充実させ、いろいろな友達とかかわり合いながら、主体的、意欲的に行うことができるようにします。【視点3】
- ・原オリで6年生が実行委員となり、学校全体のリーダーとして活躍できるようにする。
  - ・異学年活動の時間や場を適切に設定し、1年間継続して行うことができるようにしていく。（なかよし給食、休み時間の遊び、集会活動など）